



千葉大学ユニオンニュース第14号

2006年4月10日 編集・発行：千葉大学ユニオンニュース委員会

ホームページ：<http://www.age.cc/~cuu/> メールアドレス：cu_union@ybb.ne.jp

電話・ファックス：043-290-2234 ファックス専用：020-4666-6229

ユニオン事務室：総合校舎 G 号館 401 室

団体交渉を踏まえて、働きやすい、そして働きがいのある職場づくりへ

使用者側提示の06年度給与改定案をめぐる団体交渉が、3月9日、16日の2度にわたって行われました。今回の給与改定案は多くの教職員に向こう数年間に亘って昇給停止を強いるだけでなく、少なくない教員の「大学院教育にかかわる調整額」（いわゆる「大学院手当」）を大幅に切り下げるという点で、これまでの労働条件の不利益変更に相当する内容でした。このような不利益変更を阻止できなかったことについてユニオン執行委員会ではすべての教職員の皆さんにお詫びするものです（団体交渉の詳細は、ユニオンのホームページ上の「団交速報」をご覧ください）。

しかし、一方では、**（1）ユニオンが一貫して求めてきた都市調整額（地域手当）の全学一律化がほぼ達成された、（2）非常勤職員の育児休業対象年齢が常勤職員と同等になった、（3）「勤務成績の判定基準」のなかに教職員の側からの「不服申し立て」を認める項目が挿入された、（4）退職手当大幅切り下げに繋がる危険のあった調整額の名称変更をやめさせた、**などの点で重要な前進がありました。また、労働条件・環境改善のための引き続き協議については、使用者側も誠意ある態度を表明しています。私達は、4月から実行された不利益変更内容の改善とともに、働きやすい、そして働きがいのある職場づくりを目指して引き続き努力する所存です。

千葉大学ユニオンは、特に以下の課題に取り組みます。

1. 超勤未払い一掃、超勤軽減

昨年度から、超勤勤務に対する手当（法律で支払が義務づけられています）の未払いをなくし、超勤勤務そのものを軽減することが大きな課題となっています。この問題の解決は、働きやすい職場づくりのために欠かせません。未払い一掃について団交席上、使用者側も強い決意を表明していますが、現在のところ、技術系職員、非常勤職員だけでなく、事務系職員においてもなお未払いが残されている可能性があります。まず昨年度分を一掃し、今年度は超勤軽減へ向けて取り組みましょう。

2. 病院看護師の定員確保と超勤なしの勤務態勢実現

病院看護師の労働条件が深刻な現状にあることについては学長も「大変重要な問題である」との認識を示し、「今後は看護師長や現場の看護師さんからも積極的に意見を聞いていきたい。この件、ユニオンも含めて関係者と協議をすることは賛成である。」との積極的な意志を表明されています。看護師職員のみなさんの勤務については、勤務シフト、超過勤務、休暇の取得などの点でたくさん問題があります。職場の問題点、労働条件についての疑問などありましたら、ユニオンまでお寄せください。

3. 60歳定年後の再雇用制度の改善

現在、07年4月より実施される予定の定年退職者再雇用制度案が示されていますが、この案には給与単価の設定、勤務時間の長さ（標準32時間）などの点で急ぎ改善の必要性があります。学長も「今後の検討課題」との認識を示されています。再雇用制度についてご意見、ご質問がありましたら、ユニオンまでお寄せください。

4. 非常勤職員の均等処遇

大学は非常勤職員の仕事抜きには成り立ち得ないという現実を直視し、均等処遇を目指す行動をさらに強化したいと考えています。非常勤職員の在り方全体を協議したいというユニオンの提案について、学長も「理解している」と述べられています。勤務時間に応じてすべての非常勤職員に夏休みが今夏から付与されるようすぐ取り組みを始めます。

新たに千葉大学に就職・異動されたみなさん！ 千葉大学ユニオンに加入しましょう。

千葉大学ユニオンは、千葉大学で働くすべての教職員の労働条件・労働環境をよりよいものとするため、千葉大学の教職員自らで組織・運営している団体です。働きやすい職場、働きがいのある職場をつくるためには、私たち教職員自身が意見を出し合い、ともに取り組むことが欠かせません。

ユニオンのホームページ（<http://www.age.cc/~cuu/>）で規約をご覧ください。裏面の加入書に必要事項をご記入の上、ファックスにてお送り下さい。多くの方の参加を心よりお待ちしております。

■教職員の広場

千葉大学走友会のご紹介

千葉大学走友会は平成3年12月12日に当時の吉田亮学長臨席の元に設立総会が開かれ、本山直樹園芸学部教授を初代会長として発足しました。設立時の会員は当時の大越孝夫人事課長の呼び掛けで同年9月に行われた文部省関連機関駅伝に出場した21名を中心に集まり名簿上は50名を数えました。設立10周年を期に大日方昂元理学部教授が2代目会長をされ、現在は古山幹雄工学部助教授が3代目会長をされています。退職や移動などで現会員は設立時の会員と様変わりしましたが、新規入会者も毎年あって総勢40名以上の会員数を現在でも有しており、事務系、教員、そして学部を超えた交流をしています。

会としての活動内容は、4月初旬に西千葉地区での練習会と総会、4月29日の横浜駅伝に1チーム男女混合7名で3チーム以上の参加、7月上旬に館山での1泊合宿、10月初旬に松戸地区での練習会、

11月初めに皇居にて行われる文部科学省関連機関の全国駅伝に1チーム5名で男子3チームと女子1チーム以上の参加、12月下旬に稲毛海浜公園で練習会後の忘年会、等が主な行事です。各行事の終了後には懇親会を催して会員間の親睦を深めることが大きな目的となっています。

競技志向の強い会員は10月から3月のランニングシーズンを中心に、全国の市民ランニング大会に参加して日頃の練習成果を試し、悲喜こもごもの参戦結果をメール報告してきます。また、健康志向で参加している会員は、各自のペースによって練習会等でのランニングを楽しみ、主に懇親会でのお酒と人的交流をより楽しんでいます。文部科学省走友会や他の走友会とも交流があり、職場を離れた活動も出来ます。走友会への入会をご希望される方がいましたら、幹事長の斎藤了一工学部技術職員(ex. 3487, eメール:saito@office.chiba-u.jp)までご連絡下さい。

健康的に楽しめて、学内の交流にも最適な走友会へ、皆さんも入りませんか！



昨年11月に行われた皇居全国駅伝でのスタート時の様子



同じく昨年11月に行われた皇居全国駅伝の参加者

加 入 書

千葉大学ユニオン委員長 田中健夫 殿

FAX : 043-290-2234(内線ファックスからなら 2234) あるいは、020-4666-6229

千葉大学ユニオン規約を承認し、千葉大学ユニオンに加入します。

2006年__月__日

氏名_____ 所属_____

連絡方法 (メール、電話、ファックスなど)